

自治体検診に係る PHR への対応を踏まえた標準様式  
検診情報ファイル仕様  
1.1 版

## 目次

1 はじめに.....	1
2 概要.....	1
2.1 基本的な方針.....	1
2.2 XML 仕様.....	1
3 自治体検診・検診情報ファイル仕様.....	3
3.1 全体構成の概要.....	3
3.2 ヘッダ部.....	4
3.2.1 名前空間.....	4
3.2.2 CDA 管理情報.....	4
3.2.3 検診管理情報.....	5
3.2.3.1 受診者情報.....	7
3.2.3.2 ファイル作成機関情報.....	10
3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報.....	13
3.2.3.4 自治体独自管理番号(住民番号・受診券番号等)情報.....	14
3.2.3.5 検診実施情報.....	16
3.3 ボディ部.....	19
3.3.1 セクション情報.....	19
3.3.2 エントリ部仕様.....	21
3.3.2.1 エントリ部パターン①定量値.....	21
3.3.2.2 エントリ部パターン②コード値.....	22
3.3.2.3 エントリ部パターン③文字列.....	23
3.3.2.4 エントリ部パターン④一連検査グループ.....	24
3.3.3 自治体検診の独自項目.....	27
4. オブジェクト識別子、コード表.....	29
5. 検診項目.....	29
6. XML スキーマ.....	30

修正履歴

日付	版	修正内容
2021 年 9 月 30 日	1.1	P.1 仕様上の修正はないが、HL7 CDA に基づいている仕様であることを「1.はじめに」に追記。
2021 年 9 月 30 日	1.1	P.26 3.3.2.4 エントリ部パターン④ 一連検査グループ 表 15 の項目名を修正。仕様書上の修正なし。
2021 年 9 月 30 日	1.1	P.27 3.3.2.4 エントリ部パターン④一連検査グループの記述サンプルを修正。仕様書上の修正なし。
2021 年 9 月 30 日	1.1	P.32 XML スキーマのうち、郵便番号の型制約を削除。6.6 受診者住所の郵便番号、7.8.2 ファイル作成機関所在地の郵便番号、10.10.2 検診実施機関所在地の郵便番号が入力必須項目でないため。

## 1 はじめに

本書は、自治体検診データの電子的交換に必要となるファイルのうち、自治体検診の結果を送付（報告）する際に使用する、検診情報ファイルの XML 仕様を定めたものである。本仕様は特定健診情報ファイル仕様と同様に、HL7 CDA(Clinical Document Architecture) Release 2 Normative Edition 2005 に基づいて規定している。

## 2 概要

本文書は、自治体検診の結果情報を、特定健診・特定保健指導機関または医療機関等が自治体に電子的に送付（報告）する際に使用する、電子的なデータ標準様式を定義するものである。

このフォーマットは、XML 規格にもとづいている。XML 規格はデータ中に<aaa> ... </aaa> のようなタグと呼ばれるマークを埋め込むことにより、データの意味付けと構造に関する情報をデータと一緒に送信できるようにした言語規格で、インターネット上でのデータのやり取りや、コンピュータシステム間でのデータ交換、データベースからのデータの読み書きの際など広範に使用されている。XML 規格をある目的で使用する場合には、どのようなデータにどのようなタグをつけるか、またデータ同士をどのように階層化するかについて、その目的ごとに取り決める必要があり、その取り決めに関する規則は XML スキーマと呼ばれる方式で記述されたファイルで記述する。

### 2.1 基本的な方針

本フォーマットは、1 人の受診者の自治体検診の結果情報を、報告に際して必要となるヘッダー情報を含めた 1 つの XML 形式で格納し、1 個の電子ファイル（Windows や UNIX などのコンピュータオペレーティングシステムでひとつの電子ファイルとして扱われるファイル単位）とする。

1 人の受診者が、検診受診日に複数の検診を受診した場合、検診種別ごとのセクションに検診結果を格納したうえで、それらを 1 電子ファイル中に格納する方針とする。

### 2.2 XML 仕様

本書では、XML 仕様を表 1 に示す表形式で記述する。

「要素名」で示される行は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を表中の各行に示す。このとき、灰色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。

「要素/属性」列は、各行が示す項目が XML 要素の場合要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。**text()**と示される項目は、「テキスト内容」を示す。

「型」列は、「要素」「属性」「テキスト」の 3 種類の値をとり、それぞれ、その行が表す内容が、XML 要素、属性、テキスト内容であることを示す。

多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表

現する。最大値に制限がない場合は「\*」(アスタリスク)で示す。例えば、下表2の場合、**extention**要素は、XML中に0または1つのみ出現し、**sender**要素は、必ず1つ出現することを意味する。なお、多重度は、その項目の上位の項目が出現する場合の多重度となる。例えば下の例では、**interactionType**要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である**code**属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である**interactionType**要素自体は省略することが可能であるが、**interactionType**要素が出現する場合には、その下位項目である**code**属性も必ず出現することを意味している。

最小多重度が0である項目は、その要素または属性が存在しない場合があることを示す。もし記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。

「選択性（オプショナリティ）」は、**M** (Mandatory) または **O** (Optional) または **X** (出現してはならない) のいずれかの値で表現される。**M**は、必須値であり、その要素または属性は必ず1個以上出現し、かつ空文字列でない値が必ず格納されなければならない。

**O**はオプショナル項目（任意出現項目）であり、記述すべき値が存在しない場合やある条件下では、省略する項目である。また、記述すべき値がない（または記述すべき値が空文字列）場合には、その要素自体または属性自体を省略しなければならない。要素または属性を出現させて値は空文字列にすることは許可されない。**M**が指定されている要素の多重度の最小値は必ず1以上となる。

表の最初の列**No**は、本仕様書内で引用するために付与した番号で、すべての表を通じた一意の通し番号になっている。

また、赤文字となっているデータ項目は、自治体検診情報ファイルにおける必須項目である。

表1 本書におけるXML仕様の表記例

XPath		index			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
1	sender	要素	1..1	M	送付元機関
1.1	id	要素	1..1	M	送付元機関番号
1.1.1	@root	属性	1..1	M	送付元機関番号OID
1.1.2	@extention	属性	0..1	O	送付元機関番号文字列 送付元機関番号が登録不要の場合、出現しない。
5	interactionType	要素	0..1	O	種別
5.1	@code	属性	1..1	M	種別コード

### 3 自治体検診・検診情報ファイル仕様

#### 3.1 全体構成の概要

本フォーマットに基づく XML ファイルは、ヘッダ部とボディ部からなる。XML ファイルの全体構造を図 1 に示す。

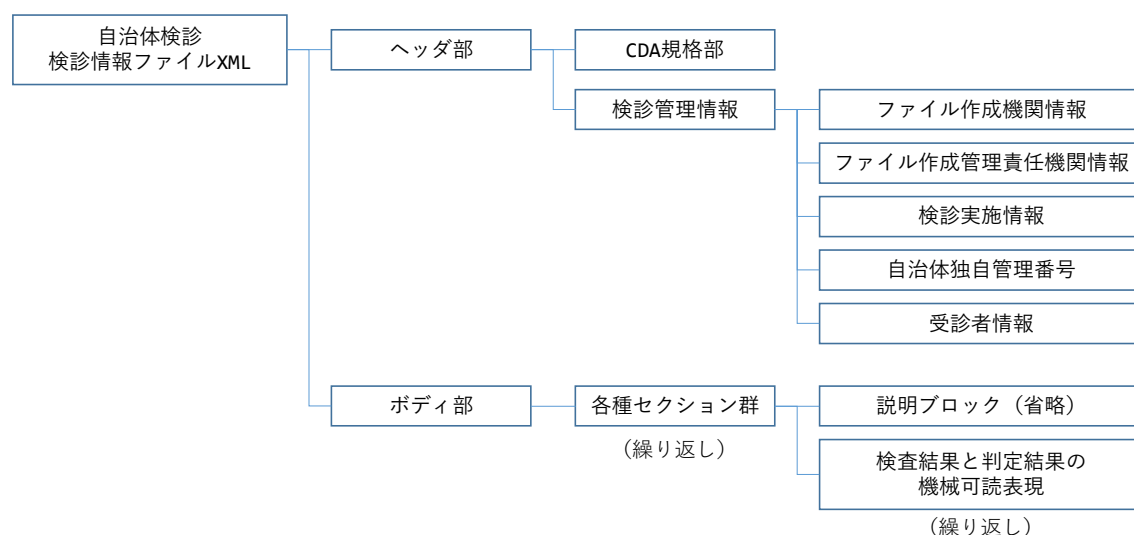


図 1 XML ファイルの全体構成

ヘッダ部には、CDA 規格上必要となるメッセージ種別など CDA 管理情報、検診実施区分や文書発行日（ファイル作成日）情報、ファイル作成機関情報、受診者情報、受診券情報、検診実施日などの検診管理情報から格納する。

ボディ部には、検診受診日に受診した複数の検診結果を、検診種別ごとのセクションに検診結果を格納したうえで、それらを 1 電子ファイル中に格納する。

補足説明 1: 本仕様で定めるファイルの文字コードは **UTF-8** とする。

補足説明 2: UTF-8 文字コードのファイルをコンピュータプログラムにより生成する場合に、ファイルの冒頭の（通常のテキスト表示では見えない最初の）3 バイトに Byte Order Mark (BOM) と呼ばれる 3 バイト **EF BB BF** (16 進) を付与する形式と付与しない形式が存在する。本仕様では、BOM の 3 バイトを付与しないとする。

## 3.2 ヘッダ部

### 3.2.1 名前空間

本仕様書で定義する XML インスタンスの名前空間は「urn:h17-org:v3」とし、これをデフォルト名前空間として指定する。また、本仕様書で定義される XML インスタンスには、「http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance」URI で識別される XML スキーマインスタンスの名前空間を使用する。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  :
  :
</ClinicalDocument>
```

本仕様のスキーマファイルは「hc08\_V08.xsd」ファイルとして提供する。このファイル名中の V08 は version 番号であり、今後スキーマファイルに大きな変更が加わる場合にはそれに伴って変更される可能性がある。

### 3.2.2 CDA 管理情報

検診情報ファイルのトップレベルの XML 要素である ClinicalDocument の最初の 2 つの要素は、HL7CDA に準拠する上で必要な情報であり、表 2 に示す 2 要素が含まれる。

表 2 ヘッダ部の CDA 管理情報

XPath		/ClinicalDocument/			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
1	typeId	要素	1..1	M	タイプ ID 準拠している CDA R2 仕様を識別するための ID。
1.1	@root	属性	1..1	M	HL7 に登録されている成果物の名前空間 OID「2.16.840.1.113883.1.3」を設定。
1.2	@extention	属性	1..1	M	CDA R2 仕様のバージョンを一意に識別する成果物識別子「POCD_HD000040」を設定。
2	id	要素	1..1	M	生成されたファイルの識別子
2.1	@nullFlavor	属性	1..1	M	未使用。ヌル値を意味する「NI」を設定。

### 3.2.3 検診管理情報

CDA 管理情報の 2 つの要素に続く要素は、検診管理情報であり、表 3 に示す項目からなる。

表 3 ヘッダ部の検診管理情報

XPath		/ClinicalDocument/			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
3	code	要素	1..1	M	報告区分コード このファイルが作成された目的や作成 タイミング等の情報を格納するために 使用。
3.1	@codeSystem	属性	1..1	M	報告区分コード OID 「1.2.392.200119.6.1001」を設定。
3.2	@code	属性	1..1	M	「42: 自治体検診」を設定。
3.3	@displayName	属性	0..1	O	報告区分コードの表示名。省略可能。 当面使用しない。
4	effectiveTime	要素	1..1	M	ファイル作成日 実際のファイル作成日と異なることも ある。この日付をもって本データを提 出したと取り扱う。
4.1	@value	属性	1..1	M	書式: YYYYMMDD
5	confidentialityCode	要素	1..1	M	守秘レベルコード HL7 ボキャブラリドメイン Confidentiality を使用。
5.1	@codeSystem	属性	0..1	O	当面使用しない。 使用する場合、守秘レベルコード OID 「2.16.840.1.113883.5.25」を設定。
5.2	@code	属性	1..1	M	「N (通常時の守秘レベル)」を設定。
6	recordTarget	要素	1..1	M	受診者情報 詳細は、3.2.3.5 節に記載。
7	author	要素	1..1	M	本ファイルを作成し提出する送付元機 関の情報。詳細は、3.2.3.1 節に記載。
8	custodian	要素	1..1	M	本ファイル作成管理責任機関情報 本仕様では使用しないが HL7 CDA 規格 上必須であるため、3.2.3.2 節のよう に記述する。
9	participant	要素	0..1	O	自治体独自管理番号(住民番号・受診券 番号等) 詳細は、3.2.3.4 節に記載。
10	documentationOf	要素	1..1	M	検診実施情報 詳細は、3.2.3.3 節に記載。



ヘッダ部の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
作成年月日	2023 年 12 月 20 日

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:h17-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:h17-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- == ヘッダ部 == -->
  <!-- 1,2.CDA 管理情報 -->
  <typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD00040"/>
  <id nullFlavor="NI"/>
  <!-- 3.報告区分 -->
  <code codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" code="42"/>
  <!-- 4.ファイル作成日 -->
  <effectiveTime value="20231220"/>
  <!-- 5.守秘レベルコード -->
  <confidentialityCode code="N"/>

  <!-- 6.受診者情報 -->
  <recordTarget>...</recordTarget>
  <!-- 7.ファイル作成機関情報 -->
  <author>...</author>
  <!-- 8.ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>...</custodian>
  <!-- 9.自治体独自管理番号 -->
  <participant typeCode="HLD">...</participant>
  <!-- 10.検診実施情報 -->
  <documentationOf>...</documentationOf>

  <!-- == ボディ部 == -->
  <component>...</component>
</ClinicalDocument>
```

### 3.2.3.1 受診者情報

受診者情報の XML 仕様を表 4 に示す。

表 4 ヘッダ部の受診者情報

XPath		/ClinicalDocument/recordTarget/patientRole			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
6.1	id	要素	0..1	O	保険者番号
6.1.1	@root	属性	1..1	M	保険者番号 OID 「1.2.392.200119.6.101」を設定。
6.1.2	@extention	属性	1..1	M	保険者番号 書式: [0-9]{8} 半角数字 8 桁。8 桁に満たない場合は先頭に「0」を付ける。
6.2	id	要素	0..1	O	被保険者証等記号
6.2.1	@root	属性	1..1	M	被保険者証等記号 OID 「1.2.392.200119.6.204」を設定。
6.2.2	@extention	属性	1..1	M	書式: 全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のいずれかとする。
6.3	id	要素	0..1	O	被保険者証等番号
6.3.1	@root	属性	1..1	M	被保険者証等番号 OID 「1.2.392.200119.6.205」を設定。
6.3.2	@extention	属性	1..1	M	書式: 全角だけからなる文字列または半角だけからなる文字列のいずれかとする。
6.4	id	要素	0..1	O	被保険者証等枝番
6.4.1	@root	属性	1..1	M	被保険者証等枝番 OID 「1.2.392.200119.6.211」を設定。
6.4.2	@extention	属性	1..1	M	書式: [0-9]{,2}
6.5	addr	要素	0..1	O	受診者住所情報
6.5.1	text()	値	1..1	M	受診者住所 全角文字列で記載。郵便番号を含まず、空白を含めない。
6.6	postalCode	要素	0..1	O	受診者住所の郵便番号 書式: ###-#### ([0-9]{3}-[0-9]{4})
6.7	telecom	要素	0..1	O	受診者連絡先情報
6.7.1	@value	属性	1..1	M	受診者の電話番号 書式: tel:##### (tel:[0-9]{,11})
6.8	patient	要素	1..1	M	受診者情報
6.9	name	要素	1..1	M	受診者氏名

6.10	administrativeGenderCode	要素	1..1	M	男女区分
6.10.1	@codeSystem	属性	1..1	M	男女区分コード OID 「1.2.392.200119.6.1104」を設定。
6.10.2	@code	属性	1..1	M	男女区分コード
6.11	birthTime	要素	1..1	M	受診者生年月日
6.11.1	@value	属性	1..1	M	書式: YYYYMMDD

受診者情報の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
保険者番号	12345678
被保険者証等記号	100
被保険者証等番号	11223344
被保険者証等枝番	01
受診者氏名	スズキイチロウ
受診者生年月日	1979 年 01 月 01 日
男女区分	1: 男
受診者住所	東京都千代田区霞が関 1 - 1 - 1
受診者郵便番号	123-0001
受診者連絡先	03-1234-6789

```

<ClinicalDocument>
  :
  :
  <!-- 6.受診者情報 -->
  <recordTarget>
    <patientRole>
      <!-- 保険者番号 -->
      <id root="1.2.392.200119.6.101" extension="12345678"/>
      <!-- 被保険者証等記号 -->
      <id root="1.2.392.200119.6.204" extension="100"/>
      <!-- 被保険者証等番号 -->
      <id root="1.2.392.200119.6.205" extension="11223344"/>
      <!-- 被保険者証等枝番 -->
      <id root="1.2.392.200119.6.211" extension="01"/>
      <!-- 受診者住所 -->
      <addr>
        <postalCode>123-0001</postalCode>
        東京都千代田区霞が関1-1-1
      </addr>
      <!-- 受診者連絡先 -->
      <telecom value="tel:0312346789"/>
      <!-- 受診者情報 -->
      <patient>
        <!-- 氏名 -->
        <name>スズキイチロウ</name>
        <!-- 性別 -->
        <administrativeGenderCode codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" code="1"/>
        <!-- 生年月日 -->
        <birthTime value="19790101"/>
      </patient>
    </patientRole>
  </recordTarget>
  :
  :
</ClinicalDocument>

```

### 3.2.3.2 ファイル作成機関情報

本ファイルの作成機関の情報として、送付元機関の情報を記述する（表 5）。

表 5 ヘッダ部のファイル作成機関情報

XPath		/ClinicalDocument/author			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
7.1	time	要素	1..1	M	ファイル作成日 受信側で特に利用されることはない。
7.1.1	@value	属性	1..1	M	書式: YYYYMMDD
7.2	assignedAuthor	要素	1..1	M	ファイル作成機関情報
7.3	id	要素	1..1	M	ファイル作成機関識別子
7.3.1	@nullFlavor	属性	1..1	M	未使用。ヌル値を意味する「NI」を設定。
7.4	representedOrganization	要素	1..1	M	ファイル作成機関
7.5	id	要素	1..1	M	ファイル作成機関番号
7.5.1	@root	属性	0..1	0	ファイル作成機関番号 OID 「1.2.392.200119.6.102」を設定。
7.5.2	@extention	属性	0..1	0	ファイル作成機関番号文字列 ファイル作成機関番号が記載不要の場合、出現しない。
7.5.3	@nullFlavor	属性	0..1	0	ファイル作成機関番号が記載不要の場合、ヌル値を意味する「NI」を設定。
7.6	name	要素	1..1	M	ファイル作成機関名
7.7	telecom	要素	0..1	0	ファイル作成機関連絡先
7.7.1	@value	属性	1..1	M	ファイル作成機関電話番号 書式: tel:##### (tel:[0-9]{11})
7.8	addr	要素	0..1	0	ファイル作成機関所在地情報
7.8.1	text()	値	1..1	M	ファイル作成機関所在地 全角文字列で記載。郵便番号を 含まず、空白を含めない。
7.8.2	postalCode	要素	0..1	0	ファイル作成機関所在地の郵便 番号 書式: ###-#### ([0-9]{3}-[0-9]{4})

ファイル作成機関番号は、特定健診・特定保健指導機関番号または医療機関番号であり、上記 2 番号をいずれも持たない機関は登録不要となっている。番号を持つ機関と持たない機関の記述方法を以下に示す。

なお、この記述方法は、3.2.3.5 検診実施情報 の検診実施機関の番号においても同様である。

```

<representedOrganization>
  <!-- ファイル作成機関番号: 番号を持つ機関 -->
  <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
  :
</representedOrganization>

<representedOrganization>
  <!-- ファイル作成機関番号: 番号を持たない機関 -->
  <id nullFlavor="NI"/>
  :
</representedOrganization>

```

ファイル作成機関情報の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
作成年月日	2023 年 12 月 20 日
ファイル作成機関番号	1234567890
ファイル作成機関名	テスト医療機関
ファイル作成機関所在地	東京都千代田区大手町 1 - 2 - 3
ファイル作成機関郵便番号	112-0000
ファイル作成機関連絡先	03-1234-5678

```

<ClinicalDocument>
  :
  :
  <!-- 7.ファイル作成機関 -->
  <author>
    <!-- ファイル作成日 -->
    <time value="20231220"/>
    <assignedAuthor>
      <id nullFlavor="NI"/>
      <representedOrganization>
        <!-- ファイル作成機関番号 -->
        <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
        <!-- ファイル作成機関名 -->
        <name>テスト医療機関</name>
        <!-- ファイル作成機関連絡先 -->
        <telecom value="tel:0312345678"/>
        <!-- ファイル作成機関所在地 -->
        <addr>
          <postalCode>112-0000</postalCode>
          東京都千代田区大手町1－2－3
        </addr>
      </representedOrganization>
    </assignedAuthor>
  </author>
  :
  :
</ClinicalDocument>

```

### 3.2.3.3 ファイル作成管理責任機関情報

検診情報の送信には必要としていない情報であるが、HL7 CDA 規格上は報告書管理責任機関情報が必須要素であるため表 6 のように記述する。受信側は無視してよい。

表 6 ヘッダ部のファイル作成管理責任機関情報

XPath		/ClinicalDocument/custodian/assignedCustodian			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
8.1	representedCustodianOrganization	要素	1..1	M	ファイル作成管理責任機関
8.2	id	要素	1..1	M	ファイル作成管理責任機関番号
8.2.1	@nullFlavor	属性	1..1	M	未使用。ヌル値を意味する「NI」を設定。

ファイル作成管理機関情報の XML サンプルを以下に示す。

```
<ClinicalDocument>
  :
  :
  <!-- 8. ファイル作成管理責任機関情報 -->
  <custodian>
    <assignedCustodian>
      <representedCustodianOrganization>
        <id nullFlavor="NI"/>
      </representedCustodianOrganization>
    </assignedCustodian>
  </custodian>
  :
  :
</ClinicalDocument>
```



### 3.2.3.4 自治体独自管理番号(住民番号・受診券番号等)情報

自治体独自管理番号情報の XML 仕様を表 7 に示す。自治体独自管理番号を送信しない場合、全体を省略してよい。

表 7 ヘッダ部の自治体独自管理番号情報

XPath		/ClinicalDocument			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
9	participant	要素	0..1	0	自治体独自管理番号情報
9.1	@typeCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン ParticipationType から「HLD」を設定。
9.2	associatedEntity	要素	1..1	M	自治体独自管理番号識別情報。
9.2.1	@classCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン RoleClass から「IDENT」を設定。
9.3	id	要素	1..*	M	自治体独自管理番号
9.3.1	@root	属性	1..1	M	自治体独自管理番号 OID OID は、下表を参照。
9.3.2	@extention	属性	1..1	M	自治体独自管理番号 書式: 最大 64 バイト半角英数
9.4	scopingOrganization	要素	1..1	M	管理番号を発行した自治体情報
9.5	id	要素	1..1	M	管理番号発行自治体コード
9.5.1	@root	属性	1..1	M	管理番号発行自治体コード OID 「1.2.392.200119.6.105」を設定。
9.5.2	@extention	属性	1..1	M	自治体コード文字列
9.6	name	要素	1..1	M	自治体名

自治体独自管理番号には、住民番号・受診券番号等の格納を想定しているが、自治体独自の管理番号 1～5 の格納を可能とする。自治体独自の管理番号 1～5 を格納する場合は、当該 OID を設定し、<code/>を繰り返し記述する。その場合の OID (9.3.1) は、以下のとおり。

自治体独自管理番号	OID
住民番号・受診券番号等	1.2.392.200119.6.299
自治体独自の管理番号記入欄 1	1.2.392.100495.100.1010
自治体独自の管理番号記入欄 2	1.2.392.100495.100.1011
自治体独自の管理番号記入欄 3	1.2.392.100495.100.1012
自治体独自の管理番号記入欄 4	1.2.392.100495.100.1013
自治体独自の管理番号記入欄 5	1.2.392.100495.100.1014

自治体独自管理情報の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
自治体独自管理番号 (住民番号・受診券番号等)	XXX12345
自治体独自の管理番号 記入欄 1	A01234
自治体コード	131016
自治体名	東京都千代田区

```

<ClinicalDocument>
  :
  :
  <!-- 9.自治体独自管理番号 -->
  <participant typeCode="HLD">
    <associatedEntity classCode="IDENT">
      <!-- 自治体独自管理番号(住民番号・受診券番号等) -->
      <id root="1.2.392.200119.6.299" extension="XXX12345"/>
      <!-- 自治体独自管理番号(管理番号記入欄 1～5) -->
      <id root="1.2.392.100495.100.1010" extension="A01234"/>
      <!-- 発行自治体情報 -->
      <scopingOrganization>
        <!-- 自治体コード -->
        <id root="1.2.392.200119.6.105" extension="131016"/>
        <!-- 自治体名 -->
        <name>東京都千代田区</name>
      </scopingOrganization>
    </associatedEntity>
  </participant>
  :
  :
</ClinicalDocument>

```

### 3.2.3.5 検診実施情報

検診実施情報の XML 仕様を表 8 に示す。

表 8 ヘッダ部の検診実施情報

XPath		/ClinicalDocument/documentationOf/serviceEvent			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
10.1	code	要素	1..1	M	検診種別（実施方法、検診区分）
10.1.1	@codeSystem	属性	1..1	M	検診種別 OID 「1.2.392.100495.100.1001」を設定。
10.1.2	@code	属性	1..1	M	検診種別のコードを設定
10.1.3	@displayName	属性	0..1	O	検診種別の表示名。省略可能。
10.2	effectiveTime	要素	1..1	M	検診実施日
10.2.1	@value	属性	1..1	M	書式：YYYYMMDD
10.3	performer	要素	1..1	M	検診実施機関情報
10.3.1	@typecode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメインの値 「PRF」を設定。
10.4	assignedEntity	要素	1..1	M	検診実施機関情報
10.5	id	要素	1..1	M	検診実施機関識別子
10.5.1	@nullFlavor	属性	1..1		未使用。ヌル値を意味する「NI」を設定。
10.6	representedOrganization	要素	1..1	M	検診実施機関
10.7	id	要素	1..1	M	検診実施機関番号
10.7.1	@root	属性	0..1	O	検診実施機関番号 OID 「1.2.392.200119.6.102」を設定。
10.7.2	@extention	属性	0..1	O	検診実施機関番号文字列 検診実施機関番号が記載不要の場合、出現しない。
10.7.3	@nullFlavor	属性	0..1	O	検診実施機関番号が記載不要の場合、ヌル値を意味する「NI」を設定。
10.8	name	要素		M	検診実施機関名
10.9	telecom	要素	0..1	O	検診実施機関の連絡先情報
10.9.1	@value	属性	1..1	M	検診実施機関の電話番号 書式：tel:##### (tel:[0-9]{,11})
10.10	addr	要素	0..1	O	検診実施機関所在地情報
10.10.1	text()	値	1..1	M	検診実施機関所在地 全角文字列で記載。郵便番号を含まず、空白を含めない。
10.10.2	postalCode	要素	0..1	O	検診実施機関所在地の郵便番号 書式：###-#### ([0-9]{3}-[0-9]{4})

受診方法（1:個別、2:集団）と検診区分（1:一次検診、2:精密検査、3:一次検診・精密検査の同時実施）の情報を以下の表に従い、検診種別コードとして記述する。

受診方法	検診区分	検診種別コード	検診種別の表記名
1: 個別	1: 一次検診	11	一次検診の個別受診
	2: 精密検査	12	精密検査の個別受診
	3: 同時実施	13	一次検診と精密検査の個別受診
2: 集団	1: 一次検診	21	一次検診の集団受診
	2: 精密検査	22	精密検査の集団受診
	3: 同時実施	23	一次検診と精密検査の集団受診

検診実施情報の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
検診実施年月日	2023 年 12 月 05 日
受診方法	1: 個別
検診区分	1: 一次検診
検診実施機関番号	1234567890
検診実施機関名	テスト医療機関
検診実施機関所在地	東京都千代田区大手町 1 - 2 - 3
検診実施機関郵便番号	112-0000
検診実施機関連絡先	03-1234-5678

```

<ClinicalDocument>
  :
  :
  <!-- 3.2.3.5 節: 検診実施情報 -->
  <documentationOf>
    <serviceEvent>
      <!-- 検診種別 -->
      <code codeSystem="1.2.392.100495.100.1001"
        code="11" displayName="一次検診の個別受診">
      <!-- 検診実施日, 一次検診実施年度 -->
      <effectiveTime value="20231205"/>
      <!-- 検診実施機関 -->
      <performer typeCode="PRF">
        <assignedEntity>
          <id nullFlavor="NI"/>
          <representedOrganization>
            <!-- 検診実施機関番号 -->
            <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1234567890"/>
            <!-- 検診実施機関名 -->
            <name>テスト医療機関</name>
            <!-- 検診実施機関連絡先 -->
            <telecom value="tel:0312345678"/>
            <!-- 検診実施機関所在地 -->
            <addr>
              <postalCode>112-0000</postalCode>
              東京都千代田区大手町1 - 2 - 3
            </addr>
          </representedOrganization>
        </assignedEntity>
      </performer>
    </serviceEvent>
  </documentationOf>
  :
  :
</ClinicalDocument>

```

### 3.3 ボディ部

ボディ部には、自治体検診の結果情報（検査結果および問診結果）が含まれ、それぞれ CDA セクションとして表現される。各セクションは、そのセクションの内容を人が解釈することを目的として構造化テキストとして記述する説明ブロック（Narrative Block）と、セクション内容を機械可読なデータとして記述するエントリ記述ブロック（Entry）から構成される。

本仕様では、説明ブロックへの記述は行わないこととし、エントリ記述ブロックは、**section** 要素の子要素となる **entry** 要素の繰り返して記述する（表 9）。**section** 要素は、セクションの種類を示すセクションコードを表す **code** 要素を子要素として含まなければならない。

表 9 ボディ部の XML 仕様

XPath		/ClinicalDocument/component			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
11	structuredBody	要素	1..1	M	構造化ボディ
12	component	要素	1..*	M	セクションへの包含関係情報 健診実施日に同時実施した検診ごとに記載。複数出現する。 詳細は、3.3.1 節に記載。
13	section	要素	1..1	M	セクション情報 必ず、セクションコードを示す <b>code</b> を子要素として含む必要がある。

#### 3.3.1 セクション情報

検査や問診結果の情報は、単一のセクションで表現され、人が解釈するための説明ブロックである **text** 要素と、各検査項目に対応する機械可読表現である複数の **entry** 要素を含む（表 10）。

表 10 検査・問診結果セクションの XML 仕様

XPath		/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section			
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
13.1	code	要素	1..1	M	CDA セクションコード
13.1.1	@codeSystem	属性	1..1	M	自治体検診の CDA セクションコード OID「1.2.392.100495.100.1050」を設定。
13.1.2	@code	属性	1..1	M	CDA セクションコード
13.1.2	@displayName	属性	0..1	O	CDA セクションコードの表示名 省略可能。
13.2	title		1..1	M	CDA セクションタイトル
13.3	text	要素	1..1	M	CDA セクションの説明ブロック 記述しないため、<text />とする。
13.4	entry	要素	1..*	M	CDA セクションの機械可読表現 詳細は、3.3.2 節に記載。

ボディ部の XML サンプルを以下に示す。

項目名称	値
検診種別①	01111: 肺がん一次検診セクション
検診種別②	01115: 胃がん一次検診セクション

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
  <!-- == ヘッダ部 == -->
  :
  :
  <!-- == ボディ部 == -->
  <component>
    <structuredBody>
      <!-- 肺がん一次検診 -->
      <component>
        <section>
          <code codeSystem="1.2.392.100495.100.1050" code="01111"
            displayName="肺がん一次検診セクション"/>
          <title>肺がん一次検診セクション</title>
          <text />
          <!-- エントリ部(繰り返し) -->
          <entry>...</entry>
          <entry>...</entry>
        </section>
      </component>
      <!-- 胃がん一次検診 -->
      <component>
        <section>
          <code codeSystem="1.2.392.100495.100.1050" code="01115"
            displayName="胃がん一次検診セクション"/>
          <title>胃がん一次検診セクション</title>
          <text />
          <!-- エントリ部(繰り返し) -->
          <entry>...</entry>
          <entry>...</entry>
        </section>
      </component>
    </structuredBody>
  </component>
</ClinicalDocument>
```

### 3.3.2 エントリ部仕様

検査・問診結果セクションに含まれる項目は、その検診結果のとりうる値により、

- ① 定量値で表現される項目
- ② コード値で表現される項目
- ③ 文字列で表現される項目

の3つのパターンに分類できる。検査項目の機械可読な表現を記述する **entry** 要素の XML 仕様は、その項目がどちらのパターンに該当するかによって決定される。以下に、それぞれのパターンの XML 仕様を示す（表 11～表 13）。

#### 3.3.2.1 エントリ部パターン①定量値

検診結果が単一の物理量（実数値と単位の組）で表現される項目であり、本仕様とは別に公開する「XML 用自治体検診項目情報」の XML データ型が「PQ」の項目が該当する。

表 11 エントリ部パターン①の XML 仕様

XPath	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry				
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
13.5	observation	要素	1..1	M	検査結果情報
13.5.1	@classCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から「OBS」を設定。
13.5.2	@moodCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から「EVN」を設定。
13.6	code	要素	1..1	M	検診項目コード
13.6.1	@codeSystem	属性	0..1	0	自治体検診の検診項目コード OID 「1.2.392.100495.100.1051」を設定。デフォルト値の場合は省略する。
13.6.2	@code	属性	1..1	0	検査項目に対応するコードを指定。本仕様とは別に公開する「XML 用自治体検診項目情報」の「項目コード」に収載されており、JLAC10-17 桁コードにもとづいて厚生労働省および関連団体が決めたコードを使用する。
13.6.3	@displayName	属性	0..1	0	検診項目コードの表示名省略可能。
13.6.4	@nullFlavor	属性	0..1	0	一連検査グループのうちグループコードが存在しない場合に使用する。nullFlavor="NA"とする。
13.7	value	要素	0..1	0	検診結果（データ値）未実施の場合、出現しない。
13.7.1	@xsi:type	属性	1..1	M	「PQ」を設定。
13.7.2	@value	属性	1..1	0	検診結果数値 書式: [1-9][0-9]*¥.[0-9]*
13.7.3	@unit	属性	0..1	0	検査結果の単位 単位のない検査結果は、出現しない



エントリ部パターン①定量値のサンプル XML を以下に示す。

項目名称	値
検診項目名	骨粗鬆症検診の間診：現在の体重
検診項目コード	9N006000000000001
検診結果数値	62.5
検診結果単位	kg

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<ClinicalDocument>
  :
  <!-- == ボディ部 == -->
  <component>
    <structuredBody>
      <component>
        <section>
          <!-- エントリ部(繰り返し) -->
          <entry>
            <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
              <!-- ver.1.1 にてサンプル中の検診項目コードの誤り修正 -->
              <code code="9N006000000000001"
                displayName="骨粗鬆症検診の間診：現在の体重"/>
              <value xsi:type="PQ" value="62.5" unit="kg"/>
            </observation>
          </entry>
          :
          :
```

### 3.3.2.2 エントリ部パターン②コード値

検診結果が定性値もしくは半定量値で表現される項目であり、本仕様とは別に公開する「XML 用自治体検診項目情報」の XML データ型が「CD」または「CO」の項目が該当する。なお、「CD」は順序なしコード型、「CO」は順序ありコード型である。

表 12 エントリ部パターン②の XML 仕様

XPath	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value				
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
13.7	value	要素	0..1	0	検診結果 未実施の場合、出現しない。
13.7.1	@xsi:type	属性	1..1	M	「CD」または「CO」を設定。
13.7.4	@code	属性	1..1	0	検査結果
13.7.5	@codeSystem	属性	1..1	0	検診結果コード OID 別紙「XML 用自治体検診項目情報」の「コード表 OID」を設定する。

エントリ部パターン②コード値のサンプル XML を以下に示す。

項目名称	値
検診項目名	骨粗鬆症検診の問診：骨折の既往歴
検診項目コード	9P62200000000011
検診結果コード表 OID	1.2.392.100495.100.2051
検診結果コード値	2：あり

<pre> : &lt;!-- == ボディ部 == --&gt; &lt;component&gt;   &lt;structuredBody&gt;     &lt;component&gt;       &lt;section&gt;         &lt;!-- エントリ部(繰り返し) --&gt;         &lt;entry&gt;           &lt;observation classCode="OBS" moodCode="EVN"&gt;             &lt;code code="9P62200000000011"               displayName="骨粗鬆症検診の問診：骨折の既往歴"/&gt;             &lt;value xsi:type="CD" code="2" codeSystem="1.2.392.100495.100.2051"/&gt;           &lt;/observation&gt;         &lt;/entry&gt;         :         : </pre>
---

### 3.3.2.3 エントリ部パターン③文字列

検診結果が文字列で表現される項目であり、本仕様とは別に公開する「XML 用自治体検診項目情報」の XML データ型が「ST」の項目が該当する。

表 13 エントリ部パターン③の XML 仕様

XPath	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry/observation/value				
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
13.7	value	要素	0..1	0	検診結果 未実施の場合、出現しない。
13.7.1	@xsi:type	属性	1..1	M	「ST」を設定。
13.7.6	text()	値	1..1	M	検診結果文字列

エントリ部パターン③文字列のサンプル XML を以下に示す。

項目名称	値
検診項目名	骨粗鬆症検診の問診：過去の骨折の部位
検診項目コード	9P623160800000049
検診結果文字列	大腿骨

```

:
<!-- == ボディ部 == -->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- エントリ部(繰り返し) -->
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="9P623160800000049"
              displayName="骨粗鬆症検診の問診：過去の骨折の部位"/>
            <value xsi:type="ST">大腿骨</value>
          </observation>
        </entry>
      </section>
    </component>
  </structuredBody>
</component>

```

#### 3.3.2.4 エントリ部パターン④一連検査グループ

「肺がん検診の胸部エックス線検査判定」の判定結果コードと「肺がん検診の胸部エックス線検査所見」のように、検査結果が付帯する情報（付帯情報）とともに現れることがある。識別可能性を高めるため、1 個以上の検査結果とその付帯情報をひとつのグループとしてまとめて記述する仕組みを導入し、「一連検査グループ」と呼ぶ。

一連検査グループとしてグルーピングされる複数の検査結果およびその付帯情報は、**entry** 要素の直下に一連検査グループをくくるための **observation** 要素がひとつだけ出現し、その内部に「**entryRelationship** 要素の中に **observation** 要素が 1 個ネスティングされた構造」の繰り返しとして各検査結果および付帯情報を記述する（表 14）。

各 **entryRelationship** の関係は、**entryRelationship/@typeCode** により記述されている。詳細は本仕様のボキャブラリ仕様「行為間関係種別コード」に記載されており、以下のようなものがある。

**COMP**: 包含関係（組み合わせ関係）

**RSN**: 他の項目への理由関係

表 14 エントリ部パターン④の XML 仕様

XPath	/ClinicalDocument/component/structuredBody/component/section/entry				
No	要素/属性	型	多重度	選択性	説明
13.5	observation	要素	1..1	M	検査結果情報
13.5.1	@classCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン ActClass から「OBS」を設定。
13.5.2	@moodCode	属性	1..1	M	HL7 ボキャブラリドメイン ActMood から「EVN」を設定。
13.8	entryRelationship	要素	0..*	0	一連検査グループに属する検査結果と付帯情報を格納する。格納する情報がない場合、上位の observation から全てを省略する。
13.8.1	@typeCode	属性	1..1	M	「COMP」または「RSON」を設定。
	observation	要素	1..1	M	エントリ部パターン①～③の 13.5 と同じ。

自治体検診における一連検査グループを表 15 に示す。

表 15 一連検査グループ

グループ	行為間 関係種別 コード	検査項目または情報項目
胸部エックス線検査	COMP	肺がん検診の胸部エックス線検査判定
	COMP	肺がん検診の胸部エックス線検査所見
喀痰検査	COMP	肺がん検診の喀痰検査受診日
	COMP	肺がん検診の喀痰検査判定
	COMP	肺がん検診の喀痰検査所見
マンモグラフィー検査	COMP	乳がん検診のマンモグラフィー検査判定
	COMP	がん検診のマンモグラフィー検査所見
胃エックス線検査	COMP	胃がん検診の胃部エックス線検査検査判定
	COMP	胃がん検診の胃部エックス線検査所見
胃内視鏡検査	COMP	胃がん検診の胃内視鏡検査検査判定
	COMP	胃がん検診の胃内視鏡検査所見
子宮頸がん視診	COMP	子宮頸がん検診の視診所見有無
	COMP	子宮頸がん検診の視診所見内容
子宮頸がん内診	COMP	子宮頸がん検診の内診所見有無
	COMP	子宮頸がん検診の内診所見内容
頸部細胞診検査	COMP	子宮頸がん検診の頸部細胞診検査判定
	COMP	子宮頸がん検診の頸部細胞診検査所見
便潜血検査	COMP	大腸がん検診の便潜血検査判定
	COMP	大腸がん検診の便潜血検査所見
骨粗鬆症 DXA 検査	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査骨量値
	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査骨密度
	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査測定部位
	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査に使用した機器

	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査判定
	COMP	骨粗鬆症検診の DXA 検査所見
骨粗鬆症エックス線検査	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査骨量値
	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査骨密度
	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査測定部位
	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査に使用した機器
	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査判定
	COMP	骨粗鬆症検診のエックス線検査所見
骨粗鬆症 CT 検査	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査骨量値
	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査骨密度
	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査測定部位
	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査に使用した機器
	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査判定
	COMP	骨粗鬆症検診の CT 検査所見
骨粗鬆症超音波検査	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査骨量値
	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査の測定結果
	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査測定部位
	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査に使用した機器
	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査判定
	COMP	骨粗鬆症検診の超音波検査所見

エントリ部パターン④一連検査グループのサンプル XML を以下に示す。

項目名称	値
1:検診項目名	肺がん検診の喀痰検査受診日
1:検査項目コード	7A030161506144349
1:検診結果文字列	20231205 (2023 年 12 月 05 日)
2:検診項目名	肺がん検診の喀痰検査判定
2:検査項目コード	7A030000006144311
2:検診結果コード OID	1.2.392.100495.100.2101
2:検診結果コード値	9: A (喀痰中に組織球を認めない)

```

:
<!-- == ボディ部 == -->
<component>
  <structuredBody>
    <component>
      <section>
        <!-- エントリ部(繰り返し) -->
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <!-- 一連検査グループ -->
            <code nullFlavor="NA"/>
            <!-- 項目 1 -->
            <entryRelationship typeCode="COMP">
              <!-- ver.1.1 にてサンプルの誤り修正 -->
              <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
                <code code="7A030161506144349"
                  displayName="肺がん検診の喀痰検査受診日"/>
                <value xsi:type="ST">20231205</value>
              </observation>
            </entryRelationship>
            <!-- 項目 2 -->
            <entryRelationship typeCode="COMP">
              <!-- ver.1.1 にてサンプルの誤り修正 -->
              <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
                <code code="7A030000006144311"
                  displayName="肺がん検診の喀痰検査判定"/>
                <value xsi:type="CD"
                  code="9" codeSystem="1.2.392.100495.100.2101"/>
              </observation>
            </entryRelationship>
            :
            :
          </observation>
        </entry>

```

### 3.3.3 自治体検診の独自項目

HL7 CDA のタグにないためにヘッダ部に格納できなかった以下の独自項目をボディ部に格納する。なお、「受診時年齢」が必須項目のため、このセクションは必須となる。

CDA セクションコード	01110 (自治体検診独自項目セクション)			
データ項目(XML 表示名)	項目コード	データ タイプ	XML データ型	最大 バイト長
一次検診受診年度	1000	数値	PQ	4
費用徴収区分	1001	文字列	ST	20

<b>受診時年齢</b> 受診時年齢は、受診者生年月日(6.11)と検診実施日(10.2)から計算する年齢と一致していなければならない。	1002	数値	PQ	3
---	------	----	----	---

サンプル XML を以下に示す。

項目名称	値
一次検診受診年度	2023
費用徴収区分	本人負担はありません。
受診時年齢	44

```

:
<!-- == ボディ部 == -->
<component>
  <structuredBody>
    <!-- 自治体検診独自項目 -->
    <component>
      <section>
        <code codeSystem="1.2.392.100495.100.1050" code="01110"
          displayName="自治体検診独自項目セクション"/>
        <title>自治体検診独自項目セクション</title>
        <text />
        <!-- 自治体検診独自項目セクション -->
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1000"
              displayName="一次検診受診年度"/>
            <value xsi:type="PQ" value="2023"/>
          </observation>
        </entry>
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1001"
              displayName="費用徴収区分"/>
            <value xsi:type="ST">本人負担はありません。</value>
          </observation>
        </entry>
        <entry>
          <observation classCode="OBS" moodCode="EVN">
            <code code="1002"
              displayName="受診時年齢"/>
            <value xsi:type="PQ" value="44"/>
          </observation>
        </entry>
      </section>
    </component>
  
```

#### 4. オブジェクト識別子、コード表

本仕様で使用するオブジェクト識別子を、本書の付属資料「OID 表」として別に公開する。

「1.2.392.100495.100.」から始まる OID は、自治体検診用に新たに付与されたものである。  
なお、自治体検診において用いる OID は、以下の範囲で付与している。

OID の範囲	説明
1.2.392.100495.100.1000～1049	ヘッダ部で用いる ID、コード表
1.2.392.100495.100.1050～1099	ボディ部で用いる ID、コード表
1.2.392.100495.100.2000～2099	エントリ部のうち、各セクションにて共通で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2100～2149	肺がん一次検診で用いるコード表 (2140 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2150～2199	肺がん精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2200～2249	乳がん一次検診で用いるコード表 (2240 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2250～2299	乳がん精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2300～2349	胃がん一次検診で用いるコード表 (2340 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2350～2399	胃がん精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2400～2449	子宮頸がん一次検診で用いるコード表 (2440 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2450～2499	子宮頸がん精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2500～2549	大腸がん一次検診で用いるコード表 (2540 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2550～2599	大腸がん精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2600～2649	肝炎ウイルス一次検診で用いるコード表 (2640 以降は、一次検診での判定結果)
1.2.392.100495.100.2650～2699	肝炎ウイルス精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2700～2749	骨粗鬆症一次検診で用いるコード表 (2740 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2750～2799	骨粗鬆症精密検査で用いるコード表
1.2.392.100495.100.2800～2849	歯周疾患一次検診で用いるコード表 (2840 以降は、精密検査対象有無)
1.2.392.100495.100.2850～2899	歯周疾患精密検査で用いるコード表

#### 5. 検診項目

本仕様で格納する自治体検診の検診項目は、本書の付属資料「XML 用自治体検診項目情報」として別に公開する。



## 6. XML スキーマ

本仕様で定義する XML スキーマ(hc08\_V08.xsd)を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<xs:schema xmlns:mif="urn:hl7-org:v3/mif"
  xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  targetNamespace="urn:hl7-org:v3" elementFormDefault="qualified">
  <!-- 共通 XML スキーマ読み込み -->
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/datatypes_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/voc_hcgv08.xsd"/>
  <xs:include schemaLocation="./coreschemas/narrativeBlock_hcgv08.xsd"/>
  <!-- 要素定義 -->
  <xs:element name="ClinicalDocument" type="POCD_MT000040.ClinicalDocument"/>
  <xs:complexType name="POCD_MT000040.ClinicalDocument">
    <xs:all>
      <!-- == ヘッダ部 == -->
      <!-- 1 タイプ ID -->
      <xs:element name="typeId">
        <xs:complexType>
          <xs:complexContent>
            <xs:restriction base="II">
              <xs:attribute name="root" type="uid" use="required"
                fixed="2.16.840.1.113883.1.3"/>
              <xs:attribute name="extension" type="st" use="required"/>
            </xs:restriction>
          </xs:complexContent>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <!-- 2 生成されたファイルの識別子 -->
      <xs:element name="id" type="II"/>
      <!-- 3 報告区分コード -->
      <xs:element name="code" minOccurs="0">
        <xs:complexType>
          <xs:complexContent>
            <xs:restriction base="CD">
              <!-- 3.1 報告区分コード OID -->
              <xs:attribute name="codeSystem" type="uid" use="optional"
                fixed="1.2.392.200119.6.1001"/>
              <!-- 3.2 コード -->
              <xs:attribute name="code" type="cs" use="required"/>
            </xs:restriction>
          </xs:complexContent>
        </xs:complexType>
      </xs:element>
      <!-- 4 ファイル作成日 -->
      <xs:element name="effectiveTime" type="TS"/>
      <!-- 5 守秘レベルコード -->
      <xs:element name="confidentialityCode" type="CE"/>
      <!-- 6 受診者情報 -->
      <xs:element name="recordTarget" type="POCD_MT000040.RecordTarget"/>
    </xs:all>
  </xs:complexType>
</xs:schema>
```

```

<!-- 7 ファイル作成機関 -->
<xs:element name="author" type="POCD_MT000040.Author"/>
<!-- 8 ファイル作成管理責任機関 -->
<xs:element name="custodian" type="POCD_MT000040.Custodian"/>
<!-- 9 自治体独自管理番号(住民番号・受診券番号等) -->
<xs:element name="participant" type="POCD_MT000040.Participant1"
  minOccurs="0"/>
<!-- 10 検診実施情報 -->
<xs:element name="documentationOf" type="POCD_MT000040.DocumentationOf"/>
<!-- 11 ボディ部 -->
<xs:element name="component" type="POCD_MT000040.Component2"/>
</xs:all>
</xs:complexType>

<!-- 6 受診者情報 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.RecordTarget">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="patientRole" type="POCD_MT000040.PatientRole"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 受診者:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.PatientRole">
  <xs:sequence>
    <!-- 6.1 保険者番号 ~ 6.4 被保険者証等枝番 -->
    <xs:element name="id" type="POCD_MT000040.InsuranceId"
      minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <!-- 6.5 受診者住所,連絡先 -->
    <xs:element name="addr" type="POCD_MT000040.Address"
      minOccurs="0"/>
    <!-- 6.7 受診者連絡先 -->
    <xs:element name="telecom" type="TEL"
      minOccurs="0"/>
    <!-- 6.8 受診者詳細 -->
    <xs:element name="patient" type="POCD_MT000040.Patient"
      minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 保険資格:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.InsuranceId">
  <!-- 6.x.1 OID -->
  <xs:attribute name="root" type="uid"/>
  <!-- 6.x.2 番号 -->
  <xs:attribute name="extension" type="st"/>
</xs:complexType>
<!-- 受診者詳細:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Patient">
  <xs:sequence>
    <!-- 6.9 氏名 -->
    <xs:element name="name" type="PN" minOccurs="0"/>
    <!-- 6.10 男女区分 -->
    <xs:element name="administrativeGenderCode" type="CE" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

```

```

    <!-- 6.11 生年月日 -->
    <xs:element name="birthTime" type="TS" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 7 ファイル作成機関 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Author">
  <xs:sequence>
    <!-- 7.1 ファイル作成日 -->
    <xs:element name="time" type="TS"/>
    <!-- 7.2 ファイル作成機関情報 -->
    <xs:element name="assignedAuthor">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <!-- 7.3 ファイル作成機関識別子 -->
          <xs:element name="id" type="II" maxOccurs="unbounded"/>
          <!-- 7.4 ファイル作成機関 -->
          <xs:element name="representedOrganization"
            type="POCD_MT000040.Organization" minOccurs="0"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 機関:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Organization">
  <xs:sequence>
    <!-- 番号 -->
    <xs:element name="id" type="II" minOccurs="0"/>
    <!-- 名称 -->
    <xs:element name="name" type="ON"/>
    <!-- 連絡先 -->
    <xs:element name="telecom" type="TEL" minOccurs="0"/>
    <!-- 所在地/住所 -->
    <xs:element name="addr" type="POCD_MT000040.Address" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 所在地/住所:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Address" mixed="true">
  <xs:sequence>
    <!-- 郵便番号 -->
    <xs:element name="postalCode" type="ST"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 郵便番号:定義 --><!-- Ver1.1 にて型制約を削除。必須項目でないため。
<xs:simpleType name="POCD_MT000040.PostalCode">
  <xs:restriction base="xs:string">
    <xs:pattern value="[0-9]{3}-[0-9]{4}"/>
  </xs:restriction>
</xs:simpleType>
-->

```

```

<!-- 8 ファイル作成管理責任機関 ** -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Custodian">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="assignedCustodian">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <!-- 8.1 ファイル作成管理責任機関 -->
          <xs:element name="representedCustodianOrganization">
            <xs:complexType>
              <xs:sequence>
                <!-- 8.2 ファイル作成管理責任機関番号 -->
                <xs:element name="id" type="II" maxOccurs="unbounded"/>
              </xs:sequence>
            </xs:complexType>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 9 自治体独自管理番号(住民番号・受診券番号等) -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Participant1">
  <xs:sequence>
    <!-- 9.2 自治体独自管理番号 -->
    <xs:element name="associatedEntity" type="POCD_MT000040.AssociatedEntity"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="typeCode" type="ParticipationType" use="required"/>
</xs:complexType>

<!-- 自治体独自管理番号:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.AssociatedEntity">
  <xs:sequence>
    <!-- 9.3 自治体独自管理番号 -->
    <xs:element name="id" type="II" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <!-- 9.4 管理番号を発行した自治体情報 -->
    <xs:element name="scopingOrganization" type="POCD_MT000040.Organization"
      minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="classCode" type="RoleClassAssociative" use="required"/>
</xs:complexType>

<!-- 10 検診実施情報 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.DocumentationOf">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="serviceEvent" type="POCD_MT000040.ServiceEvent"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 検診実施情報:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.ServiceEvent">
  <xs:sequence>
    <!-- 10.1 検診種別 -->
    <xs:element name="code" type="CD"/>
  </xs:sequence>

```

```

    <!-- 10.2 検診実施日 -->
    <xs:element name="effectiveTime" type="IVL_TS"/>
    <!-- 10.3 検診実施機関 -->
    <xs:element name="performer" type="POCD_MT000040.Performer1"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- 検診実施機関:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Performer1">
  <xs:sequence>
    <!-- 10.4 検診実施機関 -->
    <xs:element name="assignedEntity">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <!-- 10.5 検診実施機関識別子 -->
          <xs:element name="id" type="II"/>
          <!-- 10.6 検診実施機関 -->
          <xs:element name="representedOrganization"
            type="POCD_MT000040.Organization" minOccurs="0"/>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
  <xs:attribute name="typeCode" type="x_ServiceEventPerformer" use="required"/>
</xs:complexType>

<!-- == ボディ部 == -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Component2">
  <xs:sequence>
    <!-- 11 構造化ボディ -->
    <xs:element name="structuredBody">
      <xs:complexType>
        <xs:sequence>
          <!-- 12 セクションへの包含関係 -->
          <xs:element name="component" maxOccurs="unbounded">
            <xs:complexType>
              <xs:sequence>
                <!-- 13 セクション -->
                <xs:element name="section" type="POCD_MT000040.Section"/>
              </xs:sequence>
            </xs:complexType>
          </xs:element>
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>

<!-- セクション:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Section">
  <xs:sequence>
    <!-- 13.1 CDA セクションコード -->
    <xs:element name="code" type="CE" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>

```

```

<!-- 13.2 CDA セクションタイトル -->
<xs:element name="title" type="ST" minOccurs="0"/>
<!-- 13.3 CDA セクションの説明ブロック -->
<xs:element name="text" type="ST" minOccurs="0"/>
<!-- 13.4 CDA セクションの機械可読表現 -->
<xs:element name="entry" type="POCD_MT000040.Entry"
  minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
</xs:sequence>
</xs:complexType>
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Entry">
<!-- エントリ部:定義 -->
  <xs:sequence>
    <!-- 13.5 検査結果 -->
    <xs:element name="observation" type="POCD_MT000040.Observation"/>
    <!-- Ver1.1 にて追加。当面未使用 -->
    <xs:element name="act" type="POCD_MT000040.Act" minOccurs="0"/>
  </xs:sequence>
</xs:complexType>
<!-- 検査結果:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Observation">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="id" type="II" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <!-- 13.6 検診項目コード -->
    <xs:element name="code" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
      <xs:complexType>
        <xs:complexContent>
          <xs:restriction base="CD">
            <!-- 13.6.1 検診項目コード OID -->
            <xs:attribute name="codeSystem" type="uid" use="optional"
              default="1.2.392.100495.100.1051"/>
            <!-- 13.6.2 検査項目コード -->
            <xs:attribute name="code" type="cs" use="optional"/>
            <!-- 13.6.3 検診項目コード表示名 -->
            <xs:attribute name="displayName" type="st" use="optional"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <!-- 13.7 検診結果 -->
    <xs:element name="value" type="ANY"
      minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <!-- 13.8 一連検査グループ -->
    <xs:element name="entryRelationship" type="POCD_MT000040.EntryRelationship"
      minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
  <!-- 13.5.1 -->
  <xs:attribute name="classCode" type="ActClassObservation"
    use="required"/>
  <!-- 13.5.2 -->
  <xs:attribute name="moodCode" type="x_ActMoodDocumentObservation"
    use="required"/>
</xs:complexType>
<!-- 一連検査グループ:定義 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.EntryRelationship">
  <xs:sequence>

```

```

<xs:choice>
  <xs:element name="observation" type="POCD_MT000040.Observation"/>
</xs:choice>
</xs:sequence>
<!-- 13.8.1 一連検査グループ 関係性コード -->
<xs:attribute name="typeCode" type="x_ActRelationshipEntryRelationship"
  use="required"/>
</xs:complexType>
<!-- Ver1.1 にて追加。当面未使用 -->
<xs:complexType name="POCD_MT000040.Act">
  <xs:sequence>
    <xs:element name="id" type="II" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
    <!-- 13.x 独自項目コード -->
    <xs:element name="code" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
      <xs:complexType>
        <xs:complexContent>
          <xs:restriction base="CD">
            <!-- 13.x.1 独自項目コード OID -->
            <xs:attribute name="codeSystem" type="uid"
              use="optional" default="1.2.392.100495.100.1052"/>
            <!-- 13.x.2 独自項目コード -->
            <xs:attribute name="code" type="cs" use="optional"/>
            <!-- 13.x.3 独自項目コード表示名 -->
            <xs:attribute name="displayName" type="st" use="optional"/>
          </xs:restriction>
        </xs:complexContent>
      </xs:complexType>
    </xs:element>
    <!-- 13.x 独自項目値 -->
    <xs:element name="value" type="ANY"
      minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
  </xs:sequence>
  <!-- 13.x.1 -->
  <xs:attribute name="classCode" type="x_ActClassDocumentEntryAct"
    use="required"/>
  <!-- 13.x.2 -->
  <xs:attribute name="moodCode" type="x_ActMoodDocumentObservation"
    use="required"/>
</xs:complexType>
</xs:schema>

```